

城端庵唄

江戸芸能

城端に生きる

2

“足元にある文化”こそ、未来につなげる宝物…

二回目を迎える「城端に生きる江戸芸能」。
長唄三味線の線で活躍する杵屋邦寿さん、
そして城端ではお馴染みになった
本條秀太郎さんの演奏を通して、
江戸芸能から城端・庵唄へ…
文化の系譜を綴り続ける意味を、
今改めて体感していただきます！

長唄三味線 杵屋邦寿

端唄 本條秀太郎

本條秀英二

庵唄 城端庵唄保存会

司会 下澤弥生

江戸端唄

長唄三味線

令和4年3月12日(土) 14時開演 (13時開場)

南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座

富山県南砺市城端1046

JR城端駅から徒歩15分／東海北陸自動車道福光ICから車で5分

お問合せ 0763-62-5050 (じょうはな座)

チケット

全席指定 前売3,000円 当日3,500円

※Jointo会員特典 お一人2枚まで10%割引

プレイガイド

先行発売 Jointo 会員特典 12月5日回じょうはな座

10%OFF

一般発売 12月12日回

じょうはな座 / 福野文化創造センター / 井波総合文化センター

福光福祉会館 / 砺波市文化会館 / アーツナビ www.arts-navi.com

富山県民会館 / 富山県教育文化会館 / 高岡文化ホール / 新川文化ホール

※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします

※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください ※演奏中のご入場はご遠慮いただいております。

主催：一般社団法人じょうはな伝統芸能文化を護る会

後援：北日本新聞社 / とのみ衛星通信テレビ

制作：古典空間

芸術文化振興基金助成事業

「足元にある文化こそ、未来につなげる宝物」

城端に生きる 江戸芸能

城端・庵唄の源流となるさまざまな江戸の芸能。

江戸端唄、そして長唄三味線と共に紡ぐもう一つの「勸進帳」。

歌舞伎を支える音楽・長唄は、端唄と並んでいます。今回は、長唄三味線方として歌舞伎や邦楽演奏会で活躍するほか、〈長唄三味線弾き語り〉という独自のスタイルを確立した柁屋邦寿さんがたった一人で歌舞伎の名作「勸進帳」を上演します。

そしてお馴染みの本條秀太郎さん、本條秀英二さんによる江戸端唄。「江戸端唄×城端庵唄」聴き比べコーナーから、前回、城端のために作曲された新しい「城端の端唄」を再びご披露いただきます。

第一部

江戸芸能と城端

下澤弥生

長唄三味線弾き語り「一人勸進帳」

柁屋邦寿

第二部

江戸端唄と城端庵唄、聴き比べ

端唄 本條秀太郎 本條秀英二

庵唄 城端庵唄保存会

未来につなぐ「新・城端の端唄」

本條秀太郎 本條秀英二

第一部

「江戸芸能と城端」

城端曳山祭・庵唄に影響を与えた江戸芸能としての「三味線音楽」にスポットをあてて、興味深いお話をスライドなども用いつつお届けするプロログです。

長唄三味線弾き語り「一人勸進帳」

江戸芸能を代表する三味線音楽の一つ「長唄」。その表現に「一人弾き語り」という新境地を切り開き、様々な物語を伝えていく柁屋邦寿がお届けする「勸進帳」。富樫から山伏一行に布施物として贈られる加賀絹こそ城端で織られた反物：伝統芸能を通して城端の歴史と文化を知る端緒となる演目です。

【長唄とは】歌舞伎の効果音楽・伴奏音楽として成立しました。現在では芝居のほか邦楽演奏会などでも盛んに演奏されています。細棹の三味線を用い、囃子（太鼓、大鼓、小鼓、笛など）を伴って、例えば「三桤三枝」（三人の三味線方と三人の唄方）など基本的に複数で演奏します。「江戸長唄」とも言います。

第二部

江戸端唄と城端庵唄、聴き比べ

江戸の端唄から城端の庵唄へ。お馴染みとなった庵唄との聴き比べを軸に、江戸端唄の第一人者・本條秀太郎の情緒あふれる演奏を興味深いお話しと共にお届けします。

未来につなぐ「新・城端の端唄」

昨年度、ご披露いただき大好評の「城端のための新しい端唄」。加賀絹の強くしなやかな、たおやかさとかがやきを持つ絹のような感性を持つ城端の人々からインスパイアされた新しい民謡、そして世代性別を超えた多くの皆さまに唄い継いでいただくことを願いつつ、再びご披露いただきます。

【端唄とは】江戸の人々の粋と洒脱さより生れた流行歌で、三味線の演奏と共にお座敷などの室内で盛んに演奏されました。武士から町民まで、庶民の生活に根ざした身近で洗練された歌詞や旋律が特徴で、江戸時代すでに唄われていた端唄は、江戸後期には三都を中心に大流行しました。



本條秀太郎
ほんじょうひでたろう

茨城県生まれ。三味線演奏家、作曲家。1971年に本條流を創流し古典、民族音楽を土台とし現代に伝統音楽として生み出した楽派「但奏系」を築き、端唄、民謡、民俗芸能の発掘・授養、CDの発表等国内外で音楽活動を続けている。桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授歴任。2004年第五十四回文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2007年紫綬褒章を受章。



本條秀英二
ほんじょうひでえいじ

アメリカロスアンゼルス生まれ。6歳よりピアノ、10歳より三味線とクラリネットを始める。UCLA在学中2009年より本條秀太郎に師事し、本條秀英二の名を許される。桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻日本音楽専修卒業。



柁屋邦寿
ぎねやくにとし

東京都生まれ。18歳より長唄三味線を始め、1990年に独立し柁屋邦寿を名乗る。1989年に松永鉄九郎と結成した「長唄三味線ライブ・伝の会」は、日本全国及び海外でも公演を行い、高い評価を得る。また、「強く、語る。唄う。話す」のすべてを単独で行う「邦方ひとりライブ」は、2009年より現在まで1000回を超える。劇団前進座の歌舞伎公演、平成中村座公演などにおいて舞台師を勤めるなど、長唄三味線方のみならず多方面で活躍中。

新型コロナウイルス感染症対応に伴う「ご協力」のお願い

- 本公演日前後や隣のお客様との距離を確保できるよう入場者数を少なく設定しています。
- マスクの常時着用と、入り口に設置の消毒剤で手指の消毒をして頂きます。
- 37.5度以上の発熱や腫脹の症状がある方の方の入場はご遠慮頂きます。
- 入場者確認のため、チケットに氏名、連絡先の記入にご協力下さい。
- その他、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルスの感染状況によって中止や延期の対応をとる場合がございますのでホームページをご確認ください。

